

Eiche

Die Eiche ティ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町2-518-1 第二ワールド ナーシング ホーム内
TEL 047-461-9111 FAX 047-461-7010

2002年 年次総会開催



乾杯する小野寺顧問



中央デュッペル博士、右隣り小野寺顧問、その隣平尾会長
博士の左は通訳の宗宮好和副会長

平成14年5月18日(土) PM2:30~6:00

グリーントワーパレス千葉 35名

当協会2002年の総会は、千葉みなどのグリーントワーパレス千葉にて開催された。宮藤理事司会の下、まず昨年4月28日に亡くなられた故加藤吉昭前会長に黙祷を捧げ、日独両国国家吹奏(テープ)、続いて平尾浩三会長の挨拶、鈴木渉外担当常任理事を議長に選出して、平成13年度事業報告(国枝誠昭副会長)同決算・会計監査報告(下川会計担当)の後、平成14年度事業計画案・予算案(金谷専務理事)を全会一致で承認した。

又今回は、新会長体制になったのを機に、規約の改正(主な点は理事長、参与を廃止して顧問職のみとし、「顧問は、会長の要請ある場合は役員会に出席して意見を述べる事が出来る」とした)、次期役員を選出して総会終了。

続いて記念講演に移り DAAD の Duppel 博士が「私の見た川端康成」と題して話をされた(要旨下記)。更に隣室において、西阪知見事務局長司会による懇親会に移り、小野寺和夫顧問(東大名誉教授)の乾杯の音頭で会員の交流を深めた。会が盛り上がったところで参加者の紹介。先ず、2月に第29回全日本注文紳士服技術コンクールで内閣総理大臣賞を受賞した大川トシオ氏、69歳で合気道三段に合格した坂本隆夫氏、当協会から(財)日独協会事務局長に就任した宮藤宏氏を花井顧問が、特別ゲストとして、7月にドイツのウルム市から来日する合奏団と交流コンサートを行うブルーアルポ傘下の女性合唱団「こぶしの会」の吉田千賀子元会長を平尾会長が紹介。その後全員の自己紹介をして6時に終了。



私の見た川端康成

メヒテイルト・ドゥツペル高山

私は長いこと川端を研究しているが彼についての個人的見解を述べるのは今日が初めてである。日本人にとっては大変難解と思われる川端だが、ドイツ人

も、すぐにはこれと明確に定義する事の出来ない「異質性」を感じる。つまり彼の小説では常に「行間を読まなくてはならない」のである。その小説の表舞台で起こることは少なく、殆どクライマックスがなく、小津安次郎の映画同様退屈である。つまり、今日のテンポの早い時代にそぐわない故にドイツでもあまり知られていない。欧米での評価は、川端の小説は「無形式」で、筋には緊張感がなく論理的な構成に欠け、クライマックスや結末での解決も認められないといったものである。

これに対して私の考えを言えば、彼は決して伝統主義者ではなく偉大な個人主義者であり、独自の作風を作り出し、しかも彼自身の文化の根源を忘れたなかった芸術家であるという事である。川端は源氏物語を始め古典文学、同時代の文学、欧米文学など豊富な文学的知識を持っていた。その上で彼は一つの状況の正確な観察と描写即ち俳句のような「一瞬の固定化」を試み、これを連歌風に描写したのである。又、その小説の中ではある種のモチーフを繰り返して取り上げる傾向があり、私はこれを探るのが好きだが、例えば「雪国」では「鏡」が、晩年の未完の作品「みづうみ」では、「足」、「水虫」、「追跡」、「魔力」がモチーフとなっている。特にこの作品を読むと彼が日本の古典文学と西洋の現代文学の形式と技術から彼独自の作風を作り出したこと、それ故決して日本的ではないことが分かるので、私は最も面白い作品だと考えている。

(講演内容御希望の方は同封の葉書でお申し込み下さい)

～今後の催物案内～

□ チター演奏会

主催：日本チター協会・内藤先生(当協会理事)
 日時：7月6日(土) 2:00～5:00 PM
 場所：レストラン「みどり」
 交通：JR 西千葉駅南口より直進徒歩2分左側。
 連絡：TEL 043-241-1530
 会費：4000円(食事+飲物付)

□ 日独交流コンサート(当協会後援)

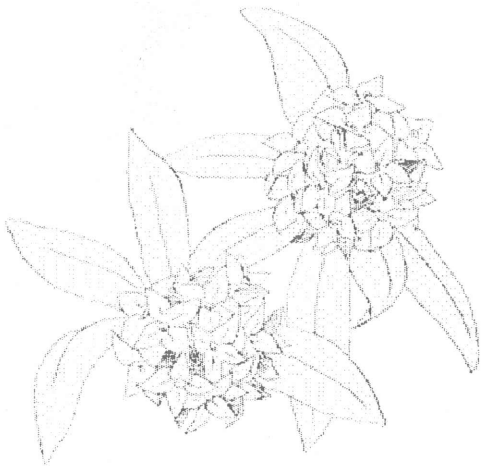
日時：7月28日(日) PM2:00～
 場所：八千代市市民会館
 交通：東葉高速鉄道・八千代中央駅下車
 会費：無料
 南ドイツのドナウ河畔ウルムから弦楽室内合奏団を迎え、県下の女声合唱団ブルーア・アルボ(1971年創立)がコンサートを催します。多数の参加をお待ちします。

こぶしの会紹介

上記、日独交流コンサートに参加するブルーア・アルボを構成する県下11の女声合唱団の1つ。1963年5月に当協会顧問青木八郎氏を指揮者に創設され、毎年演奏会がリサイタルを行っている。会員55名。

☆☆ 会費納入のお願い ☆☆

既に振込用紙をお送りしましたが、年会費3000円の納入を早目をお願い申し上げます。



ドイツ人女子学生のホームステイを紹介して

伊東惇子(当協会監事)

1月に国枝副会長よりベルリン自由大学生のホームステイを依頼された。2月から3月迄幕張のBMW社で研修予定の由。日本スポーツ少年団の国際交流に亡き夫が関係してドイツ青少年のホームステイの経験はあったが、我が家からの通勤は遠い為、BMW社近くに住んでいる友人大島滋子さんに相談した所快く受けて頂いた。彼女は日舞藤蔭流師範、娘さんは芸大生。

やってきたローラ・ヘルプストゥは大学で日本学・言語学を専攻、東京のベルリッツで独語を教えるボーイフレンドの通訳もしていた。3月3日の雛祭りには和服で来宅、大島さんの指導もあり、食卓の料理に手を出す時は左手を袖口に添える事も忘れない。私が電話口で発した「わざわざ」という言葉の意味を聞かれたり、ボーイフレンドと2人で作ったドイツ料理を馳走してくれた事も。又、大島さんは歌舞伎にも案内したとの事。3月末、平尾会長にも出席をお願いし、大島さんがサヨナラパーティーを幕張のグリーンホテルで開催。ローラは大変喜び、日本食を楽しんでいました。日本に来て自分流の生き方を曲げず青春を必死に生きる様は印象的でした。

最後になりましたが、大島さん御一家には心より御礼申し上げます。



前列中央ローラ、両脇に大島夫妻、左端筆者後列左端に平尾会長

新入会員 (敬称略)

川口正光 (四街道市)	平尾美智子 (船橋市)
小林奈那子 (千葉市)	深川巖 (横浜市)
田村左由留 (東京港区)	古山英二 (川崎市)
東海亮造 (東京品川区)	村越美和 (船橋市)
内藤文子 (横浜市)	吉田千賀子 (習志野市)